



電子版
“ロダン・タイムズ”



居酒屋談議

苦みばしった経営者とは？

居酒屋談議は、参加もよし、聴くも良し。

辞書に載ってない、経営像

(その1)本音で語ろう『居酒屋談議』



ロダン・タイムズの電子版、先月の『カウンターに小上がり3つ』は、
10年先を常に考える方々からの反響がありました。

万代くん

今回は、ある言葉から経営に今求められるものを談議してもらいます。

その言葉とは「**苦みばしった**」です。

昔、某ビール会社のCMに『苦みばしったいい男』というのがありました。
たしか三船敏郎さんが登場していましたが、高倉健さんもこのイメージ。

さて、居酒屋談議の会場はどうなっているでしょうか。

Aさん

辞書では、苦みばしった人の意味はでていません。

この『苦みばしった』という言葉、経営者にあてはめてみたい。

Bさん

厳しい人のようにも感じるが、そうでもないような気がします。

『苦みばしった』とは、他人にも自分にも厳しい人でしょうか。

Cさん

口数が少なく、ぐっと我慢が出来そうな人。

内面にやさしさをもっている人。寡黙な人間味を持った人。

（その2）苦みばしった経営者とは

この居酒屋談議には、答えがありません。

みなさんは、今、苦みばしった経営者が求められないでしょうか？

今は、経営には我慢が大切なとき。

従業員や家族に我慢をお願いするときに、経営者にも『苦み』を

求められる。いや、求められない。意見は分かります。

この居酒屋談議に答えがあるとすれば、『言い訳』経営は通用しません。

苦みに立ち向かい、苦みばしった経営者こそ生き残れます。

（その3）朝の連ドラ『カーネーション』が終わりました。

ラスト1ヶ月は、今までと違った番組を見ているようでした。

主人公が、90歳を超えても現役でいられたのは、子供たちの成長と、

違った意味での『事業承継』がうまくいったからではないでしょうか。

モチベーションを事業承継することも大切なことと思いました。

苦みばしったは、何も見た目でなく、
内面が人間味としてでてくるとしたら
きっと、良き人生を送れることでしょう。



万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

（ 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 ）
（ 八百板誠行政書士事務所 ）

事 務 所 ： 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 （8階建の1階奥です）

025（228）4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。